

岩手県・花巻市

ふ じ
富士大

中学

女子


高校

大学

男子



\ 我ら / 墨球部



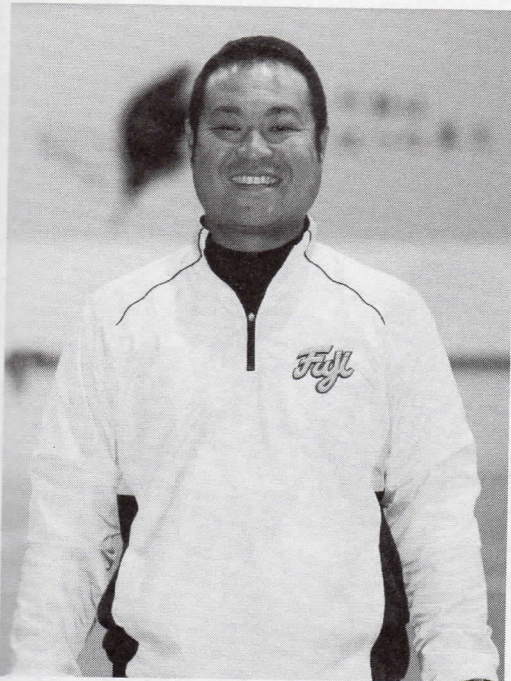
We are SOFTBALL TEAM !

第 11 回

今夏のインカレは、2001年に創部してから過去最高に並ぶ8強入りを果たした。創部当初からチームづくりに携わってきた高橋知美部長、森寿英新監督のタッグで選手たちの力を引き出し、来季のインカレ8強超えを目指して再びスタートを切る。 文・写真 / 高橋昌江



選手自身に考えさせ ソフトボールIQを鍛える



▲富士大準硬式野球部出身の森監督。高橋部長の下でソフトボール指導の経験を積み、今年から監督として指揮を執る

強力なスタッフ陣

童話集『注文の多い料理店』や詩「雨ニモマケズ」など、多くの作品を遺した、詩人で作家の宮沢賢治誕生の地である岩手県花巻市に富士大はある。1965年、奥州大として開学。76年から現校名になった富士大にソフトボール部が創部されたのは2001年4月のことだ。

「ウチは経済学部のみ単科大学で、以前は女子学生が少なかったんです。昔から硬式野球部、柔道部、剣道部、卓球部が強化部で、それに準強化部の部活もありましたが、いずれも男子学生がメイン。女子学生を増やすため、女子のスポーツに力を入れるために創部されました」
こう話すのは、コーチを経て、

今年4月から指揮を執る森英寿監督だ。

初代監督は硬式野球部の監督経験があった故・斎藤芳徳さん。1期生の全日本総合選手権まで指揮を執り、その後、硬式野球部の監督に復帰。それにもない創部からコーチを務めていた高橋知美現部長が監督に就任し、今年3月まで指揮を執った。前部長の退職で部長となったが、練習や遠征にも帯同し、森新監督とともにこれまで通りチームづくりに携わっている。

創部当時を知る高橋部長は「あれは悲しかった。そこからスタートですね」と回顧する。1期生が入学前、高橋部長の母校日本体育大と練習試合をしたとき、「3インニングで28、29失点した。そこから始まり、高橋部

長も寮生活をしながら片付けやあいさつなど礼儀から指導。東日本インカレでは2年目に東京女子体育大に、3年目には日体大に勝利。3年目からは実業団とも試合をするようになり、徐々に力をつけていった。

「インカレや全日本総合に行けるようになり、3年目くらいから意識が変わってきました。1、2、3期生は大変だったと思いますよ」（高橋部長）

高橋監督、森コーチの元でチームはさらなる成長曲線を描いてきた。そして今年、監督の交代でまた新たな局面を迎えた。

森監督は富士大準硬式野球部のOB。卒業後は就職先の軟式野球部でプレーしたが、富士大から声を掛けられて職員になった。4年間、準硬式野球部のコ

ーチを務め、05年1月からソフトボール部へ。「何も知らなければ、ソフトボールでしょと思うかもしれませんが、ソフトボール部はウチのどんな強化部よりも気合いが入っていた。そこに行くなら、こつちも気合いを入れないとダメだと思った」と振り返る。

野球より異間が短いため、最初はノックにも戸惑ったという。春には能野オープンで実業団のレベルに驚いた。同時に、大学や実業団のノックを見て学んだ。「ソフトボールは野球よりもシビアだと思います。ダイナミックさがあるのが野球。繊細で緻密なのがソフト。ソフトのほうが面白いんじゃないかな」
高橋部長とともにチームづくりをする中で大切にしてきたの



▶04年秋から今年3月まで監督を務めた高橋部長。「ウチは東北の子が多く、全国大会を経験している子も少ない。森監督にはベスト8の壁を超えてほしい」と今後もサポートしていく



▶富士大では選手たちがメニューを考える。現チームは打撃メーソンの日と守備メーソンの日を分けて練習している。1日練習だったこの日は午前、午後ともに打撃練習が中心だった

成績に並ぶ8強入りを果たした。

手応え感じたインカレ

今年のインカレは、過去最高
今年度のインカレは、過去最高
成績に並ぶ8強入りを果たした。

は、選手が「はい」や「いいえ」
を使わない質問をすることだ。
「なぜ、と疑問を持つてほしい。
何でこの練習をやっているかを
常に考えてほしい」と思っているま
す。「なぜ、こうなの？」と聞
いても、「はい」って。いや、「はい
」じゃないでしよう、と（笑）。
高橋の信念ですが、昔から「はい
」「いいえ」で答える質問は
しないんです。会話をすること
で、分かっているいなとか、怒
られることから逃げているなど
か、その選手のことが見えてき
ます」

対話することで選手を知る。
そして、それは選手の考える力
にもつながっていく。「どれだ
け打っても投げられても、ソフト
ボールI.Q.が高くないと良い
選手にはなれない。自分の後ろ
で起こっているプレーを予測し
て感じなさい」と選手には常々
伝えている。

監督になつてからはミーティ
ングも増やした。「これは分か
るよな、これは言わなくても分
かるだろうはやめたんです」
状況に応じた判断やセオリーを
確認する。大学に入るまで、そ
れぞれが教わってきたことも異
なるため、共通認識を持つこと
が重要だと考えている。

森監督は「試合に出ていない4
年生がサポートしてくれたおかげ
で、出ている選手が試合に集
中できた。また、バッテリを
中心にロススコアでゲームをつ
くれるようになり、ディフェン
ス面の向上が勝因です」と話す。
2年生エース・菊込千波の成
長は何よりも大きかった。福島
いわき光洋高の出身。高校時代
は部員が9人ぴったりの少人数
で、自分の練習に時間を割けな
かった。大学では自分と向き合
う時間が増加。走り込みなどで
体力も付き、ソフトボールに対
する考え方も確立されたことで
能力が開花した。

3人の4年生のうち、レギュ
ラーは遊撃手の松橋妃呂香のみ。
1、2年生から試合経験を積ん
だ選手が多く、それらも奏功し
た。しかし、準々決勝で対戦し
た日体大に四死球や失策から失
点し、「自滅気味」（森監督）で
敗戦。8強の壁は越えられなか
った。

インカレの初戦で先頭打者本
塁打を放つなど、打撃好調だっ
た金田汐央里を主将とする新チ
ームは再び、目標の大学日本一
に向かって走り出している。そ
のためにも大切にしていきたい
こととして「気」を掲げる。金
田主将は、「気迫を出すことや
気持ちに波をつくらないなど、
いろいろなところで「気」は必
要なので」と、その意図を話す。

TOPICS 2 体育の教員免許取得

中学社会、高校地歴・公民、商業、情報の教員免許に加え、2009
年から体育の教員免許も取れるようになった。現在、ソフトボ
ール部では16名が体育の教職課程で学んでいる。最近では岩手、秋
田の県警に大阪府警、そして警視庁と警察官になるOGが多数。
高橋部長は「実業団、警察や自衛隊に入ったりしていますが、大
学4年間は社会に出る準備の期間。自分の夢に一步、一步、近
づくための準備をしないと話します。一味、スパイスを効か
せて卒業させてあげたい」と語る。

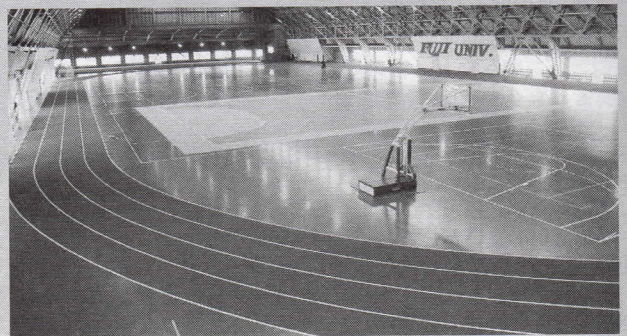


女子ソフトボール部

TOPICS 1 充実した練習施設

富士大には300メートルトラックが入る「スポーツセンター」という
大学の施設としては国内最大級の屋内総合体育館がある。人工
芝スペースを硬式野球部、準硬式野球部とともにソフトボ
ール部が使用。トラックの内側は他部が練習していないときは使用
可能で、雨や雪でも練習ができる。専用グラウンドは両翼70
メートル程度だが、中堅は50メートルもない。陸上のトラックのカーブがある
ため、変則的な形になっている。土日は市内の石鳥谷ふれあい
運動公園を使用する。

画像提供—富士大



2 選手紹介

バッテリー対談



菊込 千波
(2年・投手)

相馬 里砂
(3年・捕手)

—お互いにどんな人？

菊込 安心感がすごくあります。メリハリがあり、面白いときはすごく面白い。明るくてムードメーカーです。

相馬 負けず嫌いです。新しいことを覚えようとする好奇心を持って練習しているので、捕っていて楽しいです。

—今後に向けて

菊込 体力面も課題なので走

り込みを増やしています。菊込が投げれば大丈夫だと、安心してもらえるピッチャーになりたい。修行中です(笑)。
相馬 投手陣とコミュニケーションをとって、菊込以外のピッチャーでもどう勝てるかを考えて、信頼関係を築いていきたいです。菊込を中心に他の投手を上げていきたいです。

キャプテンに聞く



金田 汐央里
(3年)

Q 新チームはどう？

「前チームから抜けたのはショートの4年生1人ですが、その穴を埋めることが難しいです。メンバーが残っているから勝てると思わず、また一からのスタートです」

Q キャプテンとして意識していることは？

「個々に価値観や考え方、

意識の違いなどがあります。その差をどう詰めるかを考えながらやっています。副キャプテンにも協力してもらいながら引っ張ろうと思っています」

Q 目標は？

「日本一です。今年は最後に気持ちで負けたので、“気”を大切にしていきたいです」

鉄壁の守備



杉浦 理瑚
(1年・遊撃手)

山口 日向
(2年・二塁手)

—新チームになって

山口 二遊間が変わったので、連携をうまくやりたいと思います。オフは基礎を固めます。

杉浦 足を引っ張らないように、少しでも先輩に追いつけるように頑張りたいと思っています。

—お互いの良いところ

山口 思い切って前に出られていると思います。

杉浦 どんな打球でも絶対にア

ウトにするという気持ちがプレーに出ています。

—どんな選手になりたい？

山口 セカンドはいろいろなことができる、仕事がたくさんあるポジションです。守備力をもっと伸ばしていきたいです。

杉浦 ショートに打球が行ったら絶対にアウトを取れると思ってもらえるような、周りから愛される選手になりたいです。

打のキーマン



門馬 沙也加
(3年・三番)

柏原 千風悠
(2年・四番)

—打撃で大切にしていること

門馬 下半身を使うことです。そうすることでバットを振り切って、打球が飛ぶようになります。

柏原 右ヒザが開くと打球が強くないので、右ヒザを開かず、壁をつくるイメージで打っています。

—来シーズンに向けて

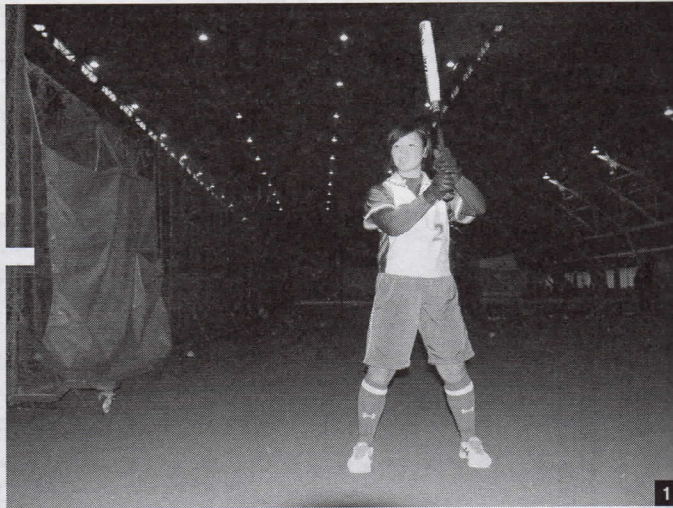
門馬 今年のインカレでは、チャンスで打てませんでした。1球を確実に捉えられるようになり、いろんな投手に対応できるバッティングをしていきたいです。

柏原 DPなので不調だと使ってもらえません。波はあると思いますが、常に実戦を意識して練習し、良い状態をキープしたいです。

リズムティー

身体の突っ込みを正す

1 1秒に1球ずつポンポンとリズムよく打ち込む 2 足を動かさずに、トスされたボールをヘソの前でとらえる



1秒につき1球ずつ、ポンポンとリズムよく打ち込む。身体が前に突っ込む選手が増えてきたため、昨年導入し、打撃練習前に行なっている。足の動きは使わずに、ヘソの前でとらえることがポイント。「体軸と体幹を意識し、一瞬で力を入れることを感じてほしい。自分の近くで強くとらえる」と森監督。高松トレーナーの指導で身体の強さができたため、そ

の力を存分に使うためでもある。「新しい携帯電話にしたのに、新機能を使わないようなもの。せっかく、身体を使えるようになったのだから、意識をなさいというも含めてです」。インパクトで力を加えられるようになったため、今年になってから広角に強い打球が増え、打球が飛ぶようになったという。

一休さん

モップがけで体幹を鍛える



3 ハンドボールコートを使って1種類を2~3往復する 4 雑巾がけの要領で行う。ネーミングはかわいらしいが、なかなかハードなトレーニングだ

スポーツセンターのトラック内で行うモップ掛け。昔は雑巾でやっていたが、いつしかモップに進化した。体幹や股関節を鍛え、腸腰筋の強化を目的に始まった。10年以上、続いており、富士大の伝統的なメニューになっている。一人で押し掛けをしたり、カエル跳びをしたり、二人一組で呼吸を合

わせて押し掛けをしたり。1種類をハンドボールコートで2~3往復する。高松トレーナーに相談したところ、オススメメニューとして公認された。このメニューには、雑巾掛けのイメージから「一休さん」という可愛らしいネーミングが付けられている。